

2016年4月5日

## いすゞ、中型路線バス「エルガミオ」をフルモデルチェンジ

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：片山 正則、以下「いすゞ」)は、中型路線バス「エルガミオ」を17年ぶりにフルモデルチェンジし、本日より全国一斉に発売します。



新型「エルガミオ」では、ノンステップエリアの通路幅・室内高、および後方段上部の室内長・室内高を拡大し、広々とした室内空間を実現することで、利便性・安全性を更に向上しました。また、優先席まわりの安全性向上、反転式スロープ板の採用による車いす乗降の簡易化・時間短縮化を図りました。さらに、新たな車いす固定装置により作業の省力化が可能になるなど、バリアフリー・ユニバーサルデザインをレベルアップした車両となっています。

また、環境性能・燃費性能の向上にあたり、軽量コンパクトな210馬力の4HK1-TCNエンジンを採用しています。トランスミッションはAMT(自動クラッチマニュアルトランスミッション)の1種類を採用し、アクセルとブレーキの2ペダルとしたことで誰もが使いやすいイーゼードライブを実現し、スムーズな運転が可能となります。主な改良点は以下の通りです。

### 【バリアフリー・ユニバーサルデザイン】

- 優先席を前向きにし、伝い歩き棒を新設するなど優先席まわりの安全性を向上しました。また、反転式スロープ板の採用により、車いす乗降の簡易化および時間の短縮を図りました。作業を省力化する、巻き取り式ベルトによる新たな車いす固定装置を採用しました。
- 床をフラットにするため、左前タイヤハウス上部へ燃料タンクを移設しました。これにより、優先席を前向きにすることができ、ノンステップエリアが拡大されました。それに伴い、乗車定員数も増加しました。

### 【エクステリア】

- クリーンでシンプルなスタイルを追求し、新しい外観デザイン・ニューフェイスになりました。
- ディスチャージヘッドランプを採用することで夜間視認性を向上しました。
- 室内高アップのため、全高を高くしたことにより、快適な空間を確保しました。

- ボディ構造の見直しにより、車両全体で約 70kg の軽量化を図り、燃費性能を向上しました。

【インテリア】

- 室内高アップや側窓エリア拡大によって、より開放的な室内空間を実現しました。
- 客席シートのグリップ幅を拡大しました。また、新デザインの樹脂製シートバックの採用により、軽量化を実現しました。
- 室内灯、車外照射灯など灯火器に LED 式ランプを採用したことにより、長期間交換不要で、メンテナンスコスト削減とともに、メンテナンス性も向上しました。

【エンジン】

- 軽量コンパクトな 210 馬力の 4HK1-TCN ディーゼルエンジンを搭載、2 ステージターボにより、全回転域において高効率なターボ効果を発揮し、燃費向上に貢献します。
- 重量車モード燃費は平成 27 年度重量車燃費基準を全車で達成しました。

【トランスミッション】

- AMT を採用しました。AMT は MT ベースにもかかわらずクラッチ操作が不要となり、アクセルとブレーキの 2 ペダルでの運転操作が可能です。また AT のようにクリープを利用した微速走行が可能です。
- ファイナルギアのギア比のバリエーションを平地向けや山岳地向けなど用途に合わせて 3 パターン用意しました。

<目標販売台数>

200 台/年

<東京地区希望小売価格>

車型	主な仕様	エンジン/ トランスミッ ション	東京地区希望小売価格	
			消費税抜	消費税込
SKG-LR290J2	平成 27 年度燃費基準達成 ポスト新長期排出ガス規制適合 ノンステップ都市型中乗り	4HK1-TCN 6 速 AMT	19,439,000 円	20,994,120 円

以上